

研究機関：広島大学

研究課題名	新型コロナウイルス（COVID-19）が当科あんしん歯科治療室受診患者に及ぼす影響
研究責任者名	広島大学病院歯科麻酔科 講師 吉田充広
研究期間	2022年7月（許可日）～ 2025年 8月31日
対象者	2014年4月から2023年3月の間に広島大学病院歯科麻酔科あんしん歯科治療室において歯科麻酔管理（静脈麻酔・静脈内鎮静法、吸入鎮静法または全身管理）を受けられた患者さん。
意義・目的	本院あんしん歯科治療室では、歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、知的能力障害やさまざまな全身疾患を持つ患者に対し、静脈麻酔・静脈内鎮静法、吸入鎮静法または全身管理を併用して歯科治療を行っています。あんしん歯科治療室で治療を行っている患者は、一般歯科医院での治療が困難なことがほとんどであり、2020年からの新型コロナウイルス（COVID-19）の流行により、治療機会が大きく制限されるなどの影響を受けている可能性があります。どんな状況においても患者に安心して治療を受けていただくために、歯科麻酔管理症例の情報を収集し、その収集された情報から、今回のような事態が患者の受診状況に与える影響を分析することを目的としています。その分析結果をもとに、診療機会が制限された社会状況において、歯科麻酔管理を必要とする患者の口腔保健の維持をどのように行うかを考察するきっかけにするために、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、ASA 分類、治療内容、麻酔法、鎮静理由、既往歴、居住地域、通院期間、ワクチン接種、職業です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学病院歯科麻酔科 講師 吉田充広
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5733 広島大学病院歯科麻酔科 講師 吉田充広